

飛躍

HIYAKU

第238号



「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body vigorous in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP*NEWS

附属高輪台高等学校の名が全国に轟く

吹奏楽部 全日本吹奏楽コンクールにて

3度目の栄えある金賞に輝く

部員143名の団結と協力の栄誉



全国大会 金賞の演奏



感動の金賞

吹奏楽部顧問
島田 貴生
1学年所属・理科

2005年10月2日(日)、名古屋国際会議場で行われた「第53回全日本吹奏楽コンクール」において、本校吹奏楽部が2年ぶり3回目の金賞を受賞いたしました。課題曲は「パクス・ロマーナ」。古代ローマ時代の軍隊

の行進を描いた重厚な響きのするマーチです。そして、自由曲は楽劇「サロメ」より7つのヴェールの踊り。欲望に生きる女サロメが、愛するヨカネの首を求め、官能的なダンスをするシーンに使用されるシュトラウスの名曲です。

昨年度、惜しくも東京都代表を逃した悔しさを練習へのエネルギーへと転化させ、出場メンバー50人は、素晴らしい演奏で3,000人を超す吹奏楽ファンを魅了しました。献身的にサポートしてきた93人の部員も本大会には駆け付け、部員143人全員で得た栄誉です。応援して下さいすべての皆様に感謝申し上げます。

金賞に輝く 喜びの顔と顔と顔



吹奏楽部部长
園田 楓

3年1組
江戸川区立
南葛西第二中学校出身

143名の一致団結により獲得した金賞

2005年10月2日に行われた全日本吹奏楽コンクールは、全国にある約3,300の高校の中から29校しか出場することができないコンクールです。その中でも9校しか受賞することの出来ない金賞を受賞することが出来ました。

例年は東京の普門館という会場で行われるのですが、今年は名古屋の国際会議場でコンクールが開催されました。私たちにとって初の遠征での全国大会だったため、大会前から現地で練習を

し、入念な確認の末、本番に臨みました。

ここまで来るのは容易なことではなく、厳しい練習や数々の苦難を乗り越えてきました。しかし、何よりも143人の部員たちと指導にあたってくださった先生方の一致団結した努力が実り、受賞することが出来たと思っています。金賞を手にした瞬間、これまでにない感動が私たちを包み、同時に祝福と喜びの歓声が沸き立ちました。先生方や保護者の皆様からのたくさんの応援と協力があったからこそ、全国大会金賞という栄誉に輝くことが出来たと思っています。本当にありがとうございました。これからも部員一同頑張っていきますので応援よろしくをお願いします。



金賞受賞決定の瞬間です!!



金賞のトロフィーと賞状を手にした部長の園田さんと副部長の青柳君

部員全員でガッツポーズ。笑顔笑顔笑顔!!



建学祭



古賀 尊之

3年1組
江東区立
深川第七中学校出身

今年度も多くの生徒が準備期間中、時間ギリギリまで残り、クラスの出し物をより良いものにしようと準備していました。その熱心さは僕が入学して以来、最もすごかったのではないかと思います。しかし当日は天候に恵まれず、生徒のテンションが下がってしまうのではないかと心配していましたが、生徒の皆さんは生き生きとしていました。今年は自作映画や合唱

10月8日、9日と開催された建学祭は、大きな事故も怪我人も出すことなく無事に終了することができました。今年度もまた4,000人を越す来校者の方々を迎えることができました。これも一重に先生方や参加した生徒全員が協力したおかげだと思います。本当にお疲れ様でした。

など、例年見られなかったものもあり、とても盛り上がりました。また、模擬店なども盛況で、金券を販売すると1時間前後で売り切れた超人気店もありました。装飾などに凝っている団体が多く、個性がよく出ていたと思います。

実行委員会も各部門全てが一生懸命で、おかげで今年度の建学祭も大きなトラブルもなく終わりました。テーマは「Enjoy100%」でしたが、来校者も含めてすべての人が思いっきり楽しんでいただけたと思います。

日本語ディベート大会 2年7組優勝

●日本語ディベート大会議題●

「日本はすべての救急車の利用を有料化すべきである。是か非か」

松橋 鑑

2年7組、江戸川区立松江第二中学校出身

私たち7組は、建学祭のディベート大会で栄えある優勝ができました。決勝で対戦した2年10組は、決勝に残っただけあって、準備もしっかりしており、最後までハラハラさせられました。そんな中で優勝できたのはクラスみんなの力があったからだと思います。事前にとったアンケートも全員が協力してくれ、急なメンバーの変更にも対応してくれたりしました。だから、この優勝は7組全員でとったものであり、クラスの絆がまた深くなりました。今回、クラスの仲間をはじめ、応援してくださった保護者の方々、お忙しい中アドバイスをくださった先生方に感謝しています。ありがとうございました。



日本語ディベート大会で
左側が優勝チームの
2年7組、右側が2年10組



英語ディベート大会で
優勝した3年1組の笑顔

英語ディベート大会 3年1組優勝

●英語ディベート大会議題●

"All Takanawadai students should belong to a club."

高木 有香

3年1組、墨田区立堅川中学校出身

The third annual English Debate contest was held during the school festival. Teams from class #1, the negative side, and class #4, the affirmative side, participated.

At first, my team mates and I were not interested in English debate contest because we did not have any confidence to debate in English. Although we had lots of difficulty in making our constructive speech, we had had lots of enjoyment in the English Debate during the preliminaries. For example, it was difficult for us to make sentences in English, but we learned many things such as using new vocabulary and the importance of learning English grammar. As a result, those difficulties made our team spirit stronger. Also I learned the importance of cooperating with my team mates.

On the day of the final round, we did our best although we were so nervous in front of so many people. I did not think that we would win because Class #4's first rebuttal speech was so excellent. Therefore we were surprised and glad to hear Milo's judgment.

Although I had lots of difficulty during the debate contest, I strongly believe that this experience will play an important role in my future.

Finally, we, all the participants of the debate contest, would like to thank the third year teachers and students for supporting us and listening to our debate.

Yuka Takagi

前期を終えて 親子の声

娘の声

加藤 眞梨子

1年8組、川崎市立立吉中学校出身

とても早く感じた半年でした。入学した当初は不安も多く、慣れるかどうか心配でした。しかし、同じクラスや他クラスに友達が増え、毎日楽しく過ごしています。部活動はバドミントン部に入りました。先輩に一から丁寧に教わっています。勉強面では中学に比べ科目も増え、焦りもありました。けれどどの先生も、きちんと教えてくれる先生で、安心してます。部活と勉強の両立を続け、中身の濃い高校生活を送りたいと思います。



母の声

加藤 協子

眞梨子さんのお母様

高輪台高校の制服が大好きな娘。4月に入学して、運動部に入部。それから休みもなく練習の日々で体がもつかなあ…と同時に、勉強もこれではついていけないのではないかと心配でした。でも、本人を見ているとクラス・クラブの友達など会話の中にいろいろな友達の名前が出てくるようになり、とても嬉しく思いました。

前期が終わり、通知表を受け取った時、ふと私も学生の頃の心境になり、一瞬胃が痛くなりましたが、開いてみると思ったより悪くなかったので胸を撫で下ろしました。

当初、部活と勉強の両立は難しいのではないかと考えていましたが、この半年を見てやはり本人の努力と先生方のご指導があれば両立することができるのだと感じました。

これからも素直で思いやりのある娘に育ててほしいと願っています。

第2回 受験生・保護者 学校説明見学会 行われる

10月16日(日)に、来年度受験のための「第2回受験生・保護者学校説明見学会」が実施されました。あいにくの雨の中でしたが、およそ900名におよぶ中学生、保護者の方々が参加されました。

予想を上回るたくさんの方々のご参加で、予定していた椅子が不足し、開始直前に慌てて追加しなくてはなりませんでした。

今年度第53回全日本吹奏楽コンクールで金賞を受賞した吹奏楽部の演奏で説明見学会が始まりました。

説明会は吹奏楽部生徒による制服紹介。3年生の太田麻友さん、相馬里美さん、高谷譲斗君、田中千恵さんによる生徒会活動・部活動、推薦制度、研修・留学制度などの説明。次いで、レネー先生と小松原先生の本校英語教育の特徴についての話の後、第1学年英語スピーチコンテストの優勝者、興安一誠君による英語スピーチが披露されました。会場の皆さんには、英語教育のレベルの高さを感じられたと思います。

杉校長の「建学の精神」についての説明、そして片桐教頭による入試制度の説明で、説明会は終了しました。その後、吹奏楽部生徒の案内により参加者は校内見学をされました。

食堂で、今日の説明会の様子を語り合う中学生、真剣に入試相談を受ける保護者の方々などがおられ、来年度の入試がいよいよ近づいてきたのだと感じました。

受験生の皆さんも、これからの数ヶ月、体調管理をしっかりととして、ぜひ、来年4月には、本校の入学式に参列できるよう頑張ってください。



図書室での入試相談



ネイティブとの英語模擬授業

2005年度学校運営方針 学校改革・改善

開かれた学校とベストティーチャー制の定着

教員のさらなるスキルアップをめざして

後援会のご協力のもとで、2004年度からベストティーチャー制が始まりました。

昨年度は後援会より3名の教師がベストティーチャー・タイプA、1名がベストティーチャー・タイプBとして表彰されました。開かれた学校、開かれた授業のもとに、今後も、教員のスキルアップを目指して、この制度の定着を図りたいと思います。

授業公開

- ▼年間を通じて、つねに授業を公開をしています。
- ▼保護者の皆さんが授業見学をしやすいように、年2回、定期的に一斉公開授業日を設定し、「保護者による授業評価アンケート」をお願いし、教員のスキルアップのための資料として活用しています。

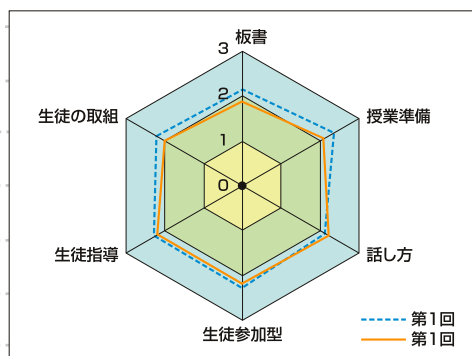


ベストティーチャー制の定着

- ▼授業における優れた教員の表彰制度です。「授業評価アンケート」の結果を利用し、生徒・保護者・教員がベストティーチャーを選びます。
- ▼各教員の授業改革への意欲を側面から支援する制度です。
- ▼この制度により、各教員の意欲を喚起し、教育の現場で評価を前向きに受け止めていく土壌作りとします。

『生徒による授業評価アンケート』の活用

- ▼教員はそれぞれの授業の自己点検を行うと同時に、「生徒による授業評価アンケート」の結果から授業改善の期間と数値目標を設定します。
- ▼アンケートの結果を、各教科会で分析・検討し授業改善に努めます。
- ▼授業改革の推進と授業評価の定着をはかることにより、保護者のみなさん、生徒より一層の信頼を得られるように努めます。



生徒による授業評価アンケートのリーダーチャート

生徒が行った授業評価アンケートによって、実際の授業の内容が改善された、向上したと生徒が実感を持てるように、さらに授業評価アンケートの質が高まり、授業改革が停滞することなく向上することをめざしています。

※今年度のベストティーチャーAタイプの候補者8名がP8「お知らせ」にあります

SSH活動報告

今年度のSSHにおける数学科の取り組みは大きく分けて2つあげられます。一つは、理科を学ぶ上で必要な数学を系統的に学習できるカリキュラムの開発です。もう一つは、形にとらわれない柔軟な発想と思考力を養う講座の実施です。それは日常生活の中で活躍する数学の理論などを模型や実演を交えて、楽しく体験しようという講座です。

数学で身につけるやわらかい頭

桑原 賢二
2年SSHクラス担任・数学科

2年生のSSHクラスを対象とした数学の課題実験で、マッチ棒を使った図形の分割問題を扱いました。この問題は、様々な角度から解を求めることができる奥の深い問題であると、東海大学教育開発研究所から助言を頂きました。そこで9月7日に第一回のSSH講座を実施しました。生徒たちは、普段の難解で硬い数学のイメージとはまったく異なる、遊び感覚のパズルのような問題に、最初は戸惑っていました。ところが生徒はすぐに慣れ、柔軟な発想で独自の分割方法を考えるようになりました。この柔軟性を養うことが「楽しい数学」の目指すところなのです。次回からは、生徒たちが、多彩なアイデアを自分なりに駆使して、数学の理論を証明・裏付けることができるように、数学科全体で取り組んでいきます。



柔軟な発想を駆使しながらの試行錯誤



図形分割がついに完成

新たな数学の世界

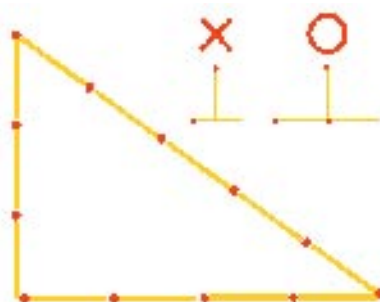
松本 拓哉
2年11組、大田区立大森第二中学校出身

僕は昨年のSSH活動で数学の講座を受けていなかったのですが、どんなことをやるかとても楽しみにしていました。実際授業を受けてみると確かに「楽しい数学」でした。今回は「マッチ棒による図形の分割」ということで、マッチ棒を使って直角三角形を2等分や1:2:3に分けたりすることをしました。さらに自分で条件を変えた問題を決め、それを解くということもしました。数学の授業というのは、ただ机に向かって方程式を解くだけだと思っていました。しかし今回の講義でそれだけが数学ではないとわかりました。頭を柔らかくし、発想を豊かにしなければということにも気が付きました。

今後のSSH講座でもいろいろなことに挑戦し、何かを自分で発見しながらいろいろなことを学んでいきたいと思っています。

問題

図のマッチ棒3本、4本、5本でできた直角三角形の面積が、1:2:3の比に分割されるようにマッチ棒を追加して並べよ。ただし、マッチ棒は端どうしが必ず接するものとし、追加するマッチ棒の数は少ないほど良い。



活躍

する卒業生

Active Graduates

1968年卒

池田 秀一

俳協所属
俳優・声優

「希望を星につないで活躍する先輩」、今月は池田秀一さんです。「機動戦士ガンダム」といえば誰もが一度は映画、テレビで見たことがあるでしょう。子どもから大人まで幅広い層に支持されているアニメ作品です。池田さんはシャア・アズナブル役、ギルバート・デュランダル役などで登場。最新作では、クアトロ・バジーナ役で登場するそうです。他にも洋画、邦画を問わず数え切れないほどの多くの役をハリのあるバリトンで演じ、視聴者に夢をあたえています。

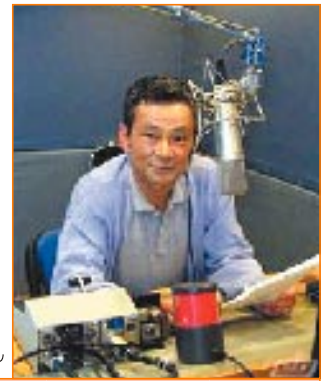
もう40年も前になるのですねえ。中野から目黒駅に出て、都電に乗り清正公前という駐車場から、かなりきつい坂を登り、母校に通学したものです。僕たちはいわゆる団塊の世代で、色々な所から個性的な生徒が集まり、男子校だったこともあり、蛮カラな雰囲気が漂っていました。

僕は、八歳のころから芸能界に入っており、高校の三年間もレギュラー番組を持っていて、当時新橋にあったNHKに学校から通っていました。結構忙しい日々を送っていたのですが、所属していたバスケット部の

合宿や修学旅行などには必ず参加しました。また、食堂のフランクフルトソーセージの味、懐かしく思い出します。担任の中村正男先生のご自宅には何回かお邪魔し、公私共に学ばせていただきました。高校生活は僕にとって大切な三年間でした。

僕は今、声優の仕事を中心に活動していますが、考えてみるととても幸運だったと思います。色々な人との出会い、節目節目で幸運な出会いをして来ました。そして、それが財産になっています。それなくして現在の自分はあり得ません。皆さんも

これから素晴らしい出会いを積み重ねて行くことでしょ。どうかそれを大切にしてください。僕もより良い作品を皆さんに届けられるように一踏ん張りしようと思います。



シャア・アズナブル役でマイクに向かう池田さん

高輪短大 INFORMATION



パワーポイントを使用して講義する吉田先生

本番は講義中！

吉田 健一郎

情報・ネットワーク学科講師

筆者は講義において学生に、次のような質問をすることがあります。

「会社が皆さんに給料を支払う際に基準となる制度の一つとして、年功序列制度というのがあるのだけれど、これは生きていくために必要な分の給料を加齢に応じてもらえる仕組みになっていて、若いときは給料が比較的低くなってしまふんだ。一方、年齢とかは一切関係なく、会社

に貢献した成果分だけもらえる成果主義という制度もあるんだ。皆さんだったら、どちらの制度を採用している会社に入りたい？」

半数を超える学生が、成果に応じて給料がもらえる会社に入りたい、自分の仕事を評価してくれる会社が良いと答えます。そういった学生に対し、「それでは、皆さんの成績をつけるときも全く同じように、出席状況などは一切考慮せず、一回のテスト結果(勉強の成果)だけで、成績をつけても良いか」と聞くと、その中の約8割程度の学生は「えっ!!!」という反応を示します。

さて、上述の例から、言いたかったの

は与えられた情報をもとにして、頭の中で状況を想定してみたり、結果を類推してみたりすることなどが重要ということです。「えっ!!!」という反応を示した学生はあまり考えずに答えていたのではないのでしょうか。最も、若干意地悪な質問だったかもしれませんが……。

筆者の講義では、様々な企業活動を題材にして、こういったことのトレーニングとなるような問題を毎講義、ミニツペーパーとして課しています。つまり、考える「癖」をつけることを目的として、「A社は今後××といった変化を受け、〇〇となるのではないか」と解答するような質問を投げかけ、皆に答えてもらっているのです。

お知らせ

ベストティーチャー・タイプA 候補決まる

「生徒による授業評価アンケート」(5月19日、9月8日実施)の結果、2005年度のベストティーチャー・タイプAの候補者8名の先生方が決まりました。11月17・18日の「一斉公開授業」をはじめ、11月22日までのご都合のよい日に来校のうえ、8名の先生方の授業を見学いただき、保護者による「授業評価アンケート」にご協力をお願いいたします。※昨年度受賞された神田、宮島、吉川の各先生は候補者から除きます

【ベストティーチャー候補者一覧】(教科順)

教員名	教科	科目(担当学年)
伊藤 明	国語	現代文/古典Ⅱ(3年)
東出 葉月	国語	現代文/古典Ⅰ(2年)
島 晴己子	地歴・公民	世界史B(2年), 日本史B(3年)
関根 章文	地歴・公民	世界史B(2年)
大上 剛	数学	数学A(1年), 数学Ⅱ(2年)
川島 純一	保健・体育	体育(1年, 2年, 3年), 保健(2年)
長島亜伽音	保健・体育	女子体育(1年), 体育(3年), 保健(2年)
米谷 昭人	保健・体育	体育(1年, 3年), 保健(2年)

※授業の曜日・時間は担任または学校にお問い合わせください。「一斉公開授業」については、後日時間割をお知らせいたします。

行事予定

November 11 月

December 12 月

- 1日(火) 学校法人東海大学建学63周年記念式典(生徒休業日)
- 2日(水) 本校創立62周年建学記念式典
- 3日(木) 文化の日
- 4日(金) 生徒会立会演説会(7時限目)
- 5日(土) 第3回受験生・保護者学校説明見学会(10:00)
- 6日(日) 吹奏楽部第16回定期演奏会①(錦糸町 すみだトリフォニーホール)
- 7日(月) 付属推薦合格発表(3年)
- 8日(火) 高校現代文明論(ポーランド・フィリベック先生、1年)
- 9日(水) 専門医によるカウンセリング
- 11日(金) 後援会湘南校舎見学研修会
- 12日(土) 東海大学付属推薦保護者会(3年)
- 13日(日) 吹奏楽部第16回定期演奏会②(川崎 ミューザ川崎シンフォニーホール)
- 17日(木) 一斉公開授業、知財講演(2・3年、1・2時限目)
- 18日(金) 一斉公開授業
- 23日(水) 勤労感謝の日
- 24日(木) 生徒による授業評価アンケート・校医相談日(15:00~17:00)
- 29日(火) 後期中間試験(1・2年)、卒業試験(3年)(~12月2日)

- 1日(木) 中間試験(1・2年)、卒業試験(3年)(~2日)
- 3日(土) 後援会委員総会
- 4日(日) 第4回受験生・保護者学校説明見学会(10:00)
- 5日(月) 自宅学習日(3年)
- 6日(火) 朝礼 答案返却日(3年)
- 7日(水) 特別講座開始(3年)
- 8日(木) 校医相談日(15:00~17:00)
- 10日(土) スポーツ大会(1年、アリーナ)
- 14日(水) 専門医によるカウンセリング
- 15日(木) 入試相談(生徒自宅学習日)
- 17日(土) スポーツ大会(2年、アリーナ)
- 20日(火) 金曜日の授業
- 22日(木) 冬季休暇前諸注意、大掃除(7時限目)
- 23日(金) 天皇誕生日、講習・補習期間(~28日)

建学祭のスナップ



編集後記

某国立大学が大学新聞の第1号を懸賞金付きで探している。「飛躍」も238号を数えるが、確かに保管してあるのは188号から。それ以前の「飛躍」が見あたらなかった。どんなものだろうか。興味がある。それが75号からではあるがひよんな所から出てきた。B4版1枚のモノクロ片面印刷である。ワープロが出始めたころであろう。もっと前はガリ版かもしれない。発見された飛躍は歴史を感じ、味わいもある。そして先人の苦勞と情熱が偲ばれる。こうした先輩の努力があって現在があるのだと感慨を深めた。(ゆ)

東海大学付属高輪台高等学校

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>